

漁業を担う新しい力！ ～新人漁師にインタビュー～

Interview

古田 涼さん (大阪府出身)
石川 大悟さん (埼玉県出身)
桑原 佑基さん (岐阜県出身)

今年3月高校を卒業後、越前町で漁師として働いている3人にお話を伺いました。

漁師になるまでの経緯

古田さん、桑原さんは6月に大阪会場、石川さんは12月に東京会場で「漁業就業支援フェア」に参加し、福井県・越前町のブースを訪問してくれました。そこで、面談をし、越前町に興味を持った3人は、夏休みや冬休みを利用して越前町で漁業体験をしました。

その後、漁師になることを決心し、福井県新規漁業者支援協議会が新たな漁業者を育てるために開設した「ふくい水産カレッジ」に入校し、1年間の座学研修を受けながら、実際に漁師として就職し漁業実習を行っています。

また、3人は町が提供する厨の水産カレッジ研修生専用住宅で共同生活をしています。

まずは、漁業就業支援フェアに行きたきつかけを教えてください。

古田 小学校の時、漁師に密着したテレビを見てずっと漁師に憧れていました。漁師になる方法を探していてインターネットで偶然フェアの事を知りました。石川 魚を捕って食べるのが好きなので漁師に興味がありました。インターネットで調べたらフェアの事が出てきたので漁師になるために参加しました。

桑原 工業高校で機械科を専攻した結果、むいてないことに気がつき、就職先を探していたとき漁師に興味を持ち、インターネットでフェアの事を知りました。



▲昨年漁業体験をした時の古田さん

みなさんインターネットが情報源なんです。いろいろな自治体がある中で、越前町で漁師になる決断をした決め手を教えてください。

古田 越前町の人たちの人柄の良さです。石川 漁協や町の手厚いサポートです。特に住宅を一年間無料で提供してもらえるのがとても助かりました。

桑原 県の水産カレッジの研修制度や、町が無料で住宅を提供してくれるなど、関係者のみなさんのサポートが手厚い事です。

町のサポートの良さで選ばれているなら、町としてもうれしい限りです。次に、3人の毎日のスケジュールを教えてください。

では、最後にこれから漁師を目指す人に一言お願いします。

桑原 体力的な面で最初は苦勞するけど、慣れば大丈夫！

石川 漁師は体力仕事のイメージがあったけど、仕事自体は機械化が進んでいるのでそこまで辛くはないです。



▲桑原さんの作業風景



▲水産カレッジ入校式での桑原さん



▲初めて越前町に来た時の石川さん

古田 朝1時ごろに起きて、出勤します。出港は3時前くらいで、帰港は5時ごろです。それから魚の選別とかがあって、家に帰るのは朝6時です。それから昼まで寝て、午後から2回目の漁にです。漁から帰って家のことをして、夜8時には寝ます。

毎日ハードなスケジュールを送ってますね。水産カレッジの研修もあって辛いと思いますが、他に辛いことはないですか。

桑原 最初は船酔いが辛かったです。

古田 漁師さんとけんかしたときです。石川 方言が今でもわからないことです。

それより睡眠不足の方が辛いです。それから、船酔いが辛いですが、すぐになれます。

古田 漁師を目指すなら根性のない人はやめといた方がいいですよ。

3人の今後の活躍に町も期待しています。本日は忙しい中、ありがとうございます。

(インタビュー 就労支援室 牛若)

3人とも福井出身じゃないから方言は難しいかもしれませんね。

桑原 みんな出身地もばらばらですから。出身地も性格も全然違うけど、同じ年だからかなあ、3人でのいるのとても面白いです。

古田さんと石川くんは、3人での共同生活はどうですか？

古田 最初は心配だったけどとても楽しいです。

石川 でも、家事をしないといけないのが辛いんです。



▲漁協の人と一緒に町長を表敬訪問した時の3人

3人で家事もこなさないといけないから、たいへんです。家事といえば、毎日のおかずはやっぱり魚が多いですか？

古田 そんなことないです。

石川 どちらかというと野菜が多いです。

桑原 そんなことないです。肉も野菜も食べてます。(笑)

みなさんのこれからの目標を教えてください。

桑原 まず、仕事を覚える事です。

石川 独立することです。

古田 もちろん、船頭になることです。



▼昨年漁業体験をした時の石川さん

